

2015 年度文京学院大学共同研究(SST プログラム等)のご協力の案内 募集要項

平成 27 年 8 月 14 日

1. 研究名

学齢期の生活に困難さを抱える子どもとその保護者への支援方法を検討する試み

2. 目的

自閉スペクトラム症を持つ小学生のお子さんと保護者の両者を対象に、並行して SST*を実施し、その前後でアンケートや心理検査を受けて頂き、プログラムの効果を検証します。

* SST(Social Skills Training)とは、自分の感情や要求を他の人に伝えたり、親密な関係を作りそれを維持していくための訓練方法の一つです。自閉スペクトラム症のお子さんは、状況を読み取ったり、衝動的な行動からトラブルが生じることがあります。これは、本人のわがままや性格ではなく、ソーシャルスキルの弱さや自尊心の低さが関係していると言われています。適切なソーシャルスキルを学び、日常生活の中で意識的に学んだスキルを使うことで、身につけていきます。

3. 対象

医療機関や専門機関で**自閉スペクトラム症と診断された小学校 2、3 年生**とその保護者(定員 6 名)で、下記スケジュールのすべての日程に参加できる方。また、**お子さまの知能検査等の結果が IQ70 以上**の方。尚、研究にご参加いただくための費用負担はございません。

4. SST プログラム内容

日程	子どもプログラム		親プログラム(10:00~11:30)
	学びの時間(10:00~10:45)	遊びの時間(10:45~11:30)	
2015/12/5	オリエンテーション、場面を読む	学びの時間で学習したことを、遊びながら練習します。	オリエンテーション
12/12	嬉しい気持ちを伝える		嬉しい気持ちを伝える
12/19	頼みごとをする		頼みごとをする
12/26	相手の言うことに耳を傾ける		相手の言うことに耳を傾ける
2016/1/9	不愉快な気持ちを伝える		不愉快な気持ちを伝える
1/30	修了式		修了式

* 親子、同じテーマで学習します。

* プログラム中の様子をビデオ録画します。

* 各回にチャレンジ(宿題)があります。学習したわざを定着させるために大切です。親子で協力してやってください。

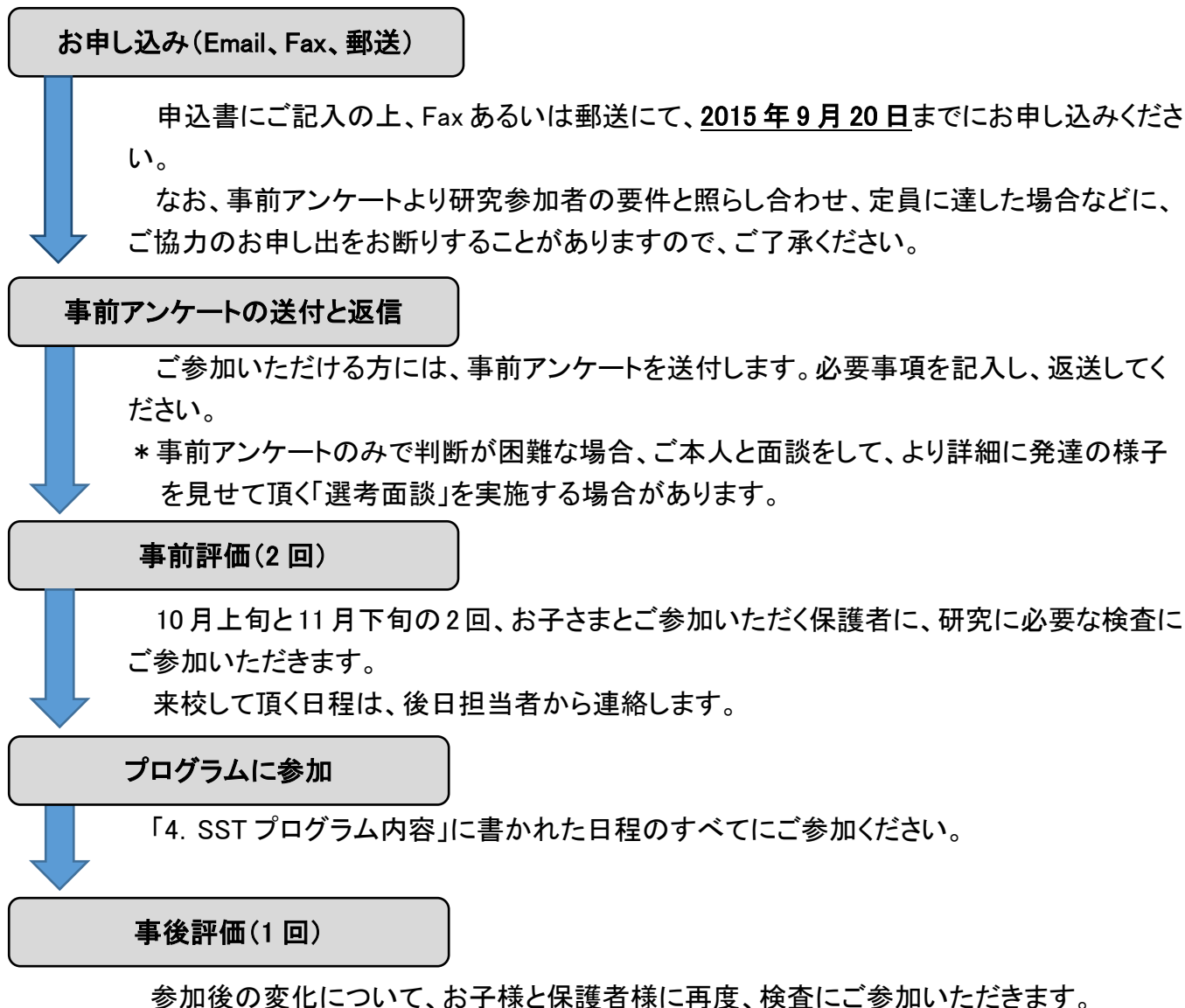
5. 実施形態

お子さん 6 名で 1 グループ、保護者の方 6 名で 1 グループを構成します。お子さんのグループにはスタッフとアシスタントが 6 名程度、保護者グループにはスタッフとアシスタントが 3 名程度、担当します。

6. 場所

文京学院大学ふじみ野キャンパス 心理臨床・福祉センター「ほっと」 * 別紙地図参照

7. お申し込みから参加の流れ



8. 倫理的配慮

この研究は、文京学院大学保健医療技術学部倫理審査委員会による、意義、安全性、個人情報保護等についての審査を経て、承認を受けております。

研究の結果は、匿名化した後に解析しますが、個人情報が漏れることのないよう厳重に保管されます。また、お越しいただいてから改めて検査の内容を書面にてよく説明し、自由意思で同意していただくから行います。一旦同意しても、途中で取り下げること自由にあります。

研究の結果は、学術雑誌への投稿と、学会での発表などの形で公表予定です。

9. お申し込み・問い合わせ先

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196

文京学院大学保健医療技術学部 作業療法学科 柴田貴美子(研究代表者)

TEL:049-261-5016 Fax:049-261-8923

Email:f-sstkenkyu@bgu.ac.jp